

高齢者の災害時＜受援力＞を高める 「防災ゲーム」 を名古屋学院大学学生が企画製作しました

名古屋学院大学(名古屋市熱田区熱田西町)では、介護が必要な高齢者の方が防災の意識を持ち、災害時の“受援力”を高められるよう、福祉施設内でレクリエーションとして楽しめる「防災ゲーム」を企画製作しました。また、完成した「防災ゲーム」を熱田区内の「医療対応型特別養護老人ホームひびのファミリア」に手渡すため、2019年9月10日(火)15時00分～医療対応型特別養護老人ホームひびのファミリア1Fにて「防災ゲーム」の贈呈式を実施します。

【背景】

名古屋学院大学の講義(上級まちづくり演習・2019年度春/担当:澤田景子経済学部講師)では、福祉施設における減災対策を学ぶとともに、要介護高齢者向けの「防災ゲーム」を考えることがテーマとなっています。受講学生らは、本演習を通じて何種類かの防災に関するカードゲームを体験、それぞれのメリット・デメリットを検討し、「要介護高齢者向けのカードゲームはどのようなものがよいか」についてディスカッションを重ねることで「防災ゲーム」を企画製作しました。



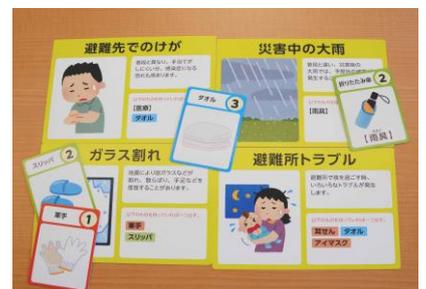
①ぼうさい神経衰弱

カードを大きくし、裏面を色分けするなど介護が必要な方にも使ってもらいやすい神経衰弱のカードです。



②避難バッグゲーム

学生が考えたオリジナルゲームです。防災グッズのカード90枚とイベントカード20枚が用意されています。防災グッズにはグッズ毎にコストが設定されており、6人ほどのグループで防災グッズのカードから必要だと思うものを、それぞれコストが15になるまで選んでもらい、避難バッグの中身を完成させます。続いて、20枚あるイベントカードを上から1枚ずつめくり、書かれてあるイベント(災害時での出来事やアクシデント)に対応できる防災グッズカードを持っていたら、それぞれが出します。イベントカードを12枚めくって一番対応できた防災グッズカードが多かった人の勝ちです。



<「防災ゲーム」贈呈式の実施について>

- 開催日時：2019年9月10日(火)15時00分～
- 開催場所：医療対応型特別養護老人ホームひびのファミリア1F(〒456-0074 愛知県名古屋市熱田区比々野町27番地)